

すこしの工夫で驚くほど快適に!

くらしの整理収納術



Before

大型の冷蔵庫を設置したキッチン。右手前にはダイニングテーブルやベンチもあり、収納スペースの拡張は難しい。片付けるのはシンク上の戸棚(戸は外して利用していた)と、シンク下収納、背面上部にある棚の部分。

今月のポイント!

- 片付ける場所に入っている全てのモノを出して把握する。
- 使うモノ、ここでは使わないモノ、いらぬモノに分ける。
- 選別することで収納スペースに余裕ができ、利便性も高まる。

こんな風に片づけたい!

- よく使うモノが散らからないよう整理したい
- ストック品の出し入れを簡単にしたい
- シンク周りにコップ置き場を作りたい
- 白くて長期間使える品質の良い収納グッズを使いたい
- 予算は1万円以内 などなど

持っているモノを把握

床に全てのモノを広げて現状をしっかりと把握する

床に新聞紙を広げ、片付ける場所から全てのモノを出して並べてみる。こうすると収納の奥に眠っていたモノや忘れていたストック類なども出てくるもの。全てのモノを把握することが、結局は整理収納の近道。

読者の要望を確認

好みや方向性、予算など丁寧な打ち合わせで確認

相談者は小さな子どもがいる家庭の20歳代女性。打ち合わせの結果、大型家具や家電の位置は変えずに、既存の造り付け収納の中に納めていく方針に固まった。



〈実践編〉アパートのキッチン①

今回から実践編がスタート。収納スペースが限られたアパートのキッチンを、読者の要望を踏まえながらスッキリ、きれいに、使いやすく整理していく。



収納スペースの計測

全ての棚のサイズを計測 緻密な収納計画を作る

モノを全て出し終わった段階で、空になった全ての収納スペースを計測。モノの種類や利用頻度に応じて収納場所を検討したり、びつたりと収まる収納アイテムを選んだりする際、必ず必要になる重要な工程。

次号では、

場所に合わせた収納アイテム選びを紹介!

教えてくれたのは…
整理収納アドバイザー 佐藤江理子さん

Profile / 1974年酒田市出身。(株)佐藤江理子建築工房代表取締役。二級建築士、インテリアコーディネーター、整理収納アドバイザー1級、住宅ローンアドバイザーの資格を持ち、お金のことから間取り・インテリアなど家づくりの全てを担当している。近藤典子暮らしアカデミー第4期生として「住まい方アドバイザー」の勉強中。

